

都市再生整備計画事業 事後評価シート  
妻北地区

令和4年3月

宮崎県西都市


様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮崎県		市町村名	西都市		地区名	妻北地区			面積	142ha	
交付期間	平成28年度～令和3年度		事後評価実施時期	令和3年度		交付対象事業費	599	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(記紀の道、桜川歩行者専用道路)、公園(稚児ヶ池公園)、地域生活基盤施設(記紀の道(広場・駐車場・案内サイン))、高質空間形成施設(記紀の道、桜川歩行者専用道路)									
		提案事業	事業活用調査(歴史を活かしたまちづくり推進調査、まちづくり事業効果分析) まちづくり活動推進事業(記紀の道活用レクリエーション社会実験、無料巡回バス社会実験、まちづくりシンポジウム開催)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(記紀の道(駐車場))		関連する施設整備の進捗等に合わせた削除				影響なし			
		提案事業	まちづくり活動推進事業(無料巡回バス社会実験)		整備計画外の観光地等も含めた社会実験に変更するため削除				影響なし			
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(稚児ヶ池通線外3路線)		記紀の道と交差する市道について、一体的な空間として整備するため追加				影響なし			
提案事業		-		-				-				
交付期間の変更	当初	平成28年～令和2年		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)		フォローアップ予定時期
	指標1	記紀の道・逢初川歩行者専用道路の利用者数	延人/年	12,932	H27	40,000	R3	28,709	△	あり なし	・記紀の道の整備により利用者が増加した。 ・コロナ禍の影響により、目標値の達成には至らなかったと考えられる。	R4.10
	指標2	桜川の通行者数	延人/年	56,210	H27	163,000	R3	39,785	×	あり なし	・本計画以降実施予定の未整備区間があり、道半ばであるとともにコロナ禍の影響により、通行量が減少したと考えられる。	R4.10
	指標3	住民の当該まちづくりの満足度	%	83	H27	85	R3	89	○	あり なし	・記紀の道や桜川歩行者専用道路の整備・休憩施設の充実や地域活動等を行ってきた結果、当該まちづくりの満足度が向上した。 ・未実施の事業は指標の改善に貢献するため、計画完了後の実施が求められる。	R4.10
	指標4	市民グループによるまちづくり活動	延人/年	665	H26	820	R2	257	△	あり なし	・コロナ禍の影響により、活動実施数・参加人数の減少がみられ目標値の達成には至らなかったと考えられる。	R4.4
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合見)		フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	地元紙(宮崎日日新聞)に掲載された回数	件/期	40	H23～27	/	/	59	/	/	・記紀の道のグッドデザイン賞等の受賞や映画制作等による露出の増加、さらには地域活動の活性化により、掲載数が増加し、注目度が高まっていると考えられる。 ・未実施の事業は指標の改善に貢献するため、計画完了後の実施が求められる。	R4.4
その他の数値指標2	記紀の道の認知度	%	85	H27	/	/	100	/	/	・継続的な住民参加によるまちづくりの結果、記紀の道の認知度が向上した。 ・未実施の事業は指標の改善に貢献するため、計画完了後の実施が求められる。	R4.10	
4)定性的な効果発現状況	①本事業の「記紀の道」が市民と協働して時間をかけ整備を進めたことで、地域に対する誇りや愛着の醸成につながっている高い評価を受け、「2019年度グッドデザイン賞」、「令和元年度手づくり郷土賞一般部門」、「美しい宮崎づくり表彰未来につなぐ景観賞」等、多数受賞した。 ②本まちづくり活動がきっかけとなり、「記紀の道」を題材とした映画「みちのみちのり」の制作が行われ、クラウドファンディングにて約1ヵ月で265人の支援を受け3,749,010円(目標金額3,000,000円)を集め、令和3年度12月より一般公開されている等、市民の注目度が高い。											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-				
	住民参加プロセス	「まちづくりシンポジウム開催」や「歴史を活かしたまちづくり推進調査」の実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 記紀の道の整備が進むにつれ、活動が活発になってきている。活動の継続化を図り、ボランティア活動が円滑に行えるよう関係組織と連絡を取り合いながら、引き続き側面的な支援を行う。				
持続的なまちづくり体制の構築	①地域住民等による清掃や花植え等のボランティア活動の実施。 ②古代米の栽培の実施。(記紀の道沿いの田んぼを活用し、古代米の栽培に取り組んだ。地元小学生を対象とし、田植え、稲刈り、もちつき体験)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				①● 新型コロナウイルスの影響で令和2・3年度は参加人数の減少が見られた。さらに、令和4年度以降JA青年部の活動継続が難しい状況であるため、他団体等による活動継承が必要となる。					

## 様式2-2 地区の概要

### 妻北地区 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標：古代からの歴史文化を活用し、にぎわい交流による地域再生と豊かな住環境を形成するまちづくり 目標1：安心して快適に暮らせる豊かなまちにしていくためのネットワーク整備 目標2：自然環境の保全と景観に配慮した歴史・文化を活かしたまちとしての魅力づくり 目標3：まちを育み、継承する人材づくり	記紀の道・逢初川歩行者専用道路の利用者数	延人/年	12,932 H27	40,000 R3	28,709 R3
	桜川の通行者数	延人/年	56,210 H27	163,000 R3	39,785 R3
	住民の当該まちづくりの満足度	%	83 H27	85 R3	89 R3
	市民グループによるまちづくり活動	延人/年	665 H26	820 R2	257 R3
	地元紙(宮崎日日新聞)に掲載された回数	件/期	40 H23~27	-	59 H28~R3
	記紀の道の認知度	%	85 H27	-	100 R3



■ 記紀の道・稚児ヶ池通線

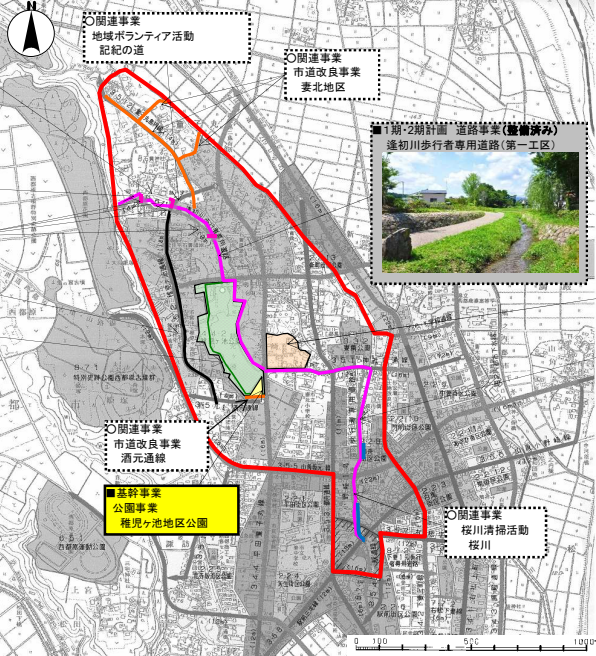
■ 基幹事業  
高質空間形成施設  
記紀の道  
地域生活基盤施設  
記紀の道(広場)  
記紀の道(案内サイン)

■ 基幹事業  
道路事業  
記紀の道(逢初川歩行者専用道路第二工区)(街路)

■ 基幹事業  
道路事業  
稚児ヶ池通線外3路線(市道改良)(道路)

○ 関連事業  
「特別計画」基幹事業  
稚児ヶ池通線(整備済み)

○ 関連事業  
公園事業  
稚児ヶ池地区公園



○ 関連事業  
地域ボランティア活動  
記紀の道

○ 関連事業  
市道改良事業  
妻北地区

■ 特別計画「道路事業(整備済み)」  
逢初川歩行者専用道路(第一工区)

○ 関連事業(効果促進事業)  
記紀の道活用レンタサイクル社会実験  
無料巡回バス社会実験

○ 関連事業  
史・白向国府跡 歴史活き活き！  
史跡等総合活用整備事業

■ 基幹事業  
道路事業  
桜川歩行者専用道路(市道改良)(道路)  
高質空間形成施設  
桜川歩行者専用道路

○ 関連事業  
桜川清掃活動  
桜川

■ 基幹事業  
公園事業  
稚児ヶ池地区公園


○ 関連事業  
稚児ヶ池地区公園

□ 提案事業  
(事業活用調査)  
歴史を活かしたまちづくり推進調査  
まちづくり事業効果分析  
(まちづくり活動推進事業)  
まちづくりシンポジウム開催  
記紀の道活用レンタサイクル社会実験


○ 関連事業(効果促進事業)  
記紀の道活用レンタサイクル社会実験  
無料巡回バス社会実験

○ 関連事業  
史・白向国府跡 歴史活き活き！  
史跡等総合活用整備事業


■ 基幹事業  
道路事業  
桜川歩行者専用道路(市道改良)(道路)  
高質空間形成施設  
桜川歩行者専用道路



■ 桜川歩行者専用道路(市道改良)



■ 桜川歩行者専用道路(高質空間形成施設)



□ 記紀の道活用レンタサイクル社会実験

**凡例**

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業
- 記紀の道関係  
計画路線
- 記紀の道  
未整備区間

**まちの課題の変化**

【西都原古墳群と中心市街地を結ぶネットワークの形成強化】  
 ・記紀の道は桜川歩行者専用道路の一部を除き概ね完了しており、ネットワークが強化されつつあるが、引き続き未整備区間の整備が必要であり、更には中心市街地活性化への展開を図る必要がある。  
 【歴史を活かしたまちづくりの推進】  
 ・地域住民や商店会、地元代表者、学識経験者、行政、専門家が一体となった組織活動が継続され、歴史を活かしたまちづくり活動が実施されたので、活動の継続・歴史の継承が必要がある。  
 【市民が参加するまちづくり体制の構築】  
 ・市民が参加する多くのまちづくりが継続されたが、更なる体制の強化を図るため、新規団体の参入を推進していく必要がある。  
 【新たな課題】  
 ・西都市内に点在する観光地の回遊性の向上、市の魅力発信や周辺市町村との観光面での連携、観光客および高齢者が利用しやすい環境整備について取組む必要がある。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- ・桜川歩行者専用道路の未整備区間の整備実施と整備済み区間の適正な維持管理を行い利用を促進する。
- ・中心市街地へ人が訪れる魅力づくりを行うため、中心市街地での多世代が交流可能な空間整備や魅力の発信を行う。
- ・市民が参加するまちづくり体制を維持するために、取組内容の周知等により若者を含め新たな参加を促進する。
- ・市の魅力発信や周辺市町村との観光面での連携として、観光情報の積極的なPRや周辺市町村と連携イベント等を行う。
- ・市内に点在する観光地の回遊性を向上するため、市内観光地の回遊ルート等の創出を行う。
- ・観光客および高齢者が利用しやすい環境整備として、公共交通機関によるネットワーク構築等を行う。